東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ　ロータリー：変化をもたらす

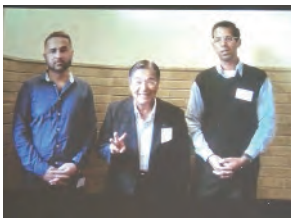
ロータリー：変化をもたらす

Vol.51　第2463回例会　2017.9.14

今年度会長テーマ　行動すれば何でも出来る！希望を持って取り組もう！

■司会：小町会員

■点鐘・会長挨拶・会務報告　石山会長



水野パストガバナーからのビデオレターを流します。
10月13日地区立法案検討会「2019年度規定審議会制定案」で提案1「国際ロータリー細則」人頭分担金に値上げに歯止めをかける件、提案2「標準ロータリークラブ定款」第3条（クラブの目的）を削除する件、提案3「標準ロータリークラブ定款」第6条（五大奉仕部門）を改定する件を審議します。初めて「あゆを食べる会」に参加します。

■合唱：ロータリーソング「我らの生業」
◆ソングリーダー：野澤（厚）会員

■お客様紹介：
中丸パスト会長

本日のお客様は、入会予定者の平野さんです。平野さんは、東村山ゴルフ連盟の本部役員として活躍しています。

■幹事報告　岩原幹事

■米山奨学委員会→町田米山委員長へ
クラブ支援ロータリー米山奨学金の件について
クラブ支援ロータリー米山記念奨学生募集要項（奨学期間の延長）
対象：現役の米山記念奨学生で奨学期間が終了する方
奨学期間延長の注意点：2018年度分の奨学生採用が減る。世話クラブが奨学金の半額を負担する。など
■米山奨学委員会→米山奨学生（陳さん）へ
地区米山奨学生「能と狂言の鑑賞会」招待の件について
平成29年11月23日　午後2時開演
千駄ヶ谷国立能楽堂　浅草RC招待
■ロータリー米山記念奨学会→米山奨学生（陳さん）へ
奨学生証の送付について
目的：奨学生の自覚を持つ。奨学生番号や世話クラブ名を忘れない。奨学期間後も有効とし学友として情報を覚えておく。
■ロータリー米山記念奨学会→野崎会員へ
米山功労者第11回メジャードナー感謝状の受理について
野崎一重会員へ感謝状
■東京青梅ロータリークラブ→会長・幹事へ
第3回多摩分区連絡会の案内
10月6日（金）16時～　井中居
■回覧：ロータリー平和フェローシップ　ニュースレター第1号
■2017～18年度「クラブ概況及び事業計画」訂正
別紙参照

■出席報告　野村会員

■会員数：28名　■欠席：6名　■本日の出席者：21名
■出席率：77.78%　■前々回出席率（修正後）：96.15%

■ニコニコBOX　森田会員

◆石山会長・岩原幹事：平野さん、ようこそ。すっかり慣れたようですね。「ロータリーの友月間」卓話よろしく。今日は晴天の中「あゆ」をいっぱい食べてきます。
◆野澤（秀）会員：田中さんの奥様のシャンソンライブ聴いてきました。素敵なひとときでした。
◆北久保会員：孫の「敬老を祝う会」に出席してきました。
◆田中会員：平野さん出席ありがとうございます。

●合計：12,000円　●累計：395,000円

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中條　基成
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

■お客様挨拶

■平野裕明さん

4回目になります。11月から入会予定です。100%出席を目指して頑張ります。皆様、よろしくお願い致します。

■メジャードナー感謝状

■野崎一重会員

米山功労者第11回メジャードナー：「米山奨学事業へのご寄付に対して心から感謝申し上げます。」

■委員長報告

■中丸国際奉仕委員長

国際大会等に関するアンケートの結果報告を受けて委員会で協議をします。（別紙あり）

■歩こう会：野澤（秀）会員

10月21日土曜日に花小金井駅を9時に出発します。小雨決行で、井の頭公園まで行きます。

■隅屋宜一さんを励ます会：村越委員

私が決めて日を変えて隅屋さんに電話をして頂くようリストを作成しました。（別紙あり）

■卓話:「ロータリーの友」月間

■卓話者：
赤木会員研修委員長
（代読：岩原幹事）

・ロータリークラブに在籍して21年を迎えます。クラブ名簿を見ると上から9番目なっており時の経つことの速さを実感しています。
・幹事を経験した時に多くのロータリアンと接し、その素晴らしさに気付かされました。現状の問題点は、ロータリーの良さを理解しないまま数年で退会してしまう。会員のロータリー知識が低下している。研修の機会が減っている。
・これらを改善する為に、新入会員の為の研修を継続的に実施する。現会員の為に効率的な研修を実施する。自身が研修、教育、討論の経験を積むこと。
・自分自身は、多くのロータリアンに接し、ロータリーの素晴らしさに気付く事ができたので、自分なりのロータリー感を持ち続けられた。
・歴代会長が唱えた「わ・和・輪」が実践される事で解決される。

■卓話者：
戸澤会員研修副委員長

・今年度地区研修委員会の立ち上げ。研修リーダーは、2580地区　吉田パストガバナー田無RC
・グループディスカッション方式での研修。アメリカでのRIガバナー研修がディスカッション形式。
・東久留米RC荻野さんが「東久留米は従来ロータリーの友の記事を紹介するだけでしたが、夜間例会をするようになった。例会を短くして1時間ぐらい勉強会をしてから、懇親会をやっている。クラブの雰囲気が良くなった。」
・紀尾井町RC、那覇RCも月に一度は、炉辺会合をしている。
・秋川RCは、入会10年未満の会員が半数でJC卒業者の入会が増えた。
・ロータリーは、道路に捨てられた紙くずやタバコの吸い殻を拾う人ではなく、捨てない人を育てる団体である。
・ロータリアンは、時間をコントロールできる人で例会への出席が大事である。
・ロータリーは、人。磨けば光る人を入会させる。

■卓話者：
金子会員研修委員

・職業奉仕とは、自分の職業に励んで社会のお役に立つ事。
・一歩進んで、倫理観、道徳律に裏付けられた職業奉仕。利益を社会へ還元する。
・職業奉仕を極めるためには、自分だけの殻に閉じこもってはいけない。
・他（異）業種の人達との交流・研鑽の場が重要。ロータリーの建増し論。
・例会が人を育て、人を大きく成長させる。よって、例会の充実が最も重要。
・例会開催日の緩和は、職業奉仕の理念を弱体する恐れがある。
・純粋に主婦や無職の方々の入会については、若干の疑問がある。
・職業奉仕を重視し当該年度の会長方針に基づいた社会奉仕を考えるべき。
・職業奉仕と社会奉仕についてバランスをとった活動を展開し会員の拡充を図る。

■閉会点鐘：石山会長